

太陽光パネルリサイクル事業の開始予定について

当社グループ会社の株式会社信州タケエイ(長野県諏訪市、以下「信州タケエイ」)において、太陽光パネルのリサイクル事業を開始いたしますので、下記のとおりお知らせいたします

記

1. 本事業について

2009年に余剰電力買取制度が開始されて以降、太陽光発電の急速な拡大に伴い太陽光パネルの設置が増加しています。太陽光パネルの製品寿命は約25～30年とされているために、2030年頃からは交換や廃棄されるパネルの排出量が大幅に増加すると見込まれ、また近年増加する自然災害による廃パネルの適正な処理も課題と認識されています。

太陽光パネルの適正処理・リサイクルには高度な技術と専用の設備が必要です。しかしながら、廃太陽光パネルから有用な金属やガラス等を回収し、今後見込まれる排出量にも対応可能な処理設備はまだ整っていないのが現状です。

こういった課題の解決を目指して、当社グループでは太陽光パネルリサイクル事業を新たに開始することとし、処理方法の研究・開発等に取り組み、この度、信州タケエイは長野県より廃太陽光パネルを処理する許可を取得しました。

廃太陽光パネルの処理は、まず端子やケーブル等を解体し、「油圧式フレーム外し機」にてアルミ枠を取り外します。フレームを取り外したパネルは「手動式カバーガラス剥離装置」に投入してカバーガラスを剥離し、回収します。また、リサイクルするだけでなく、検品して状態の良いものはリユースも行う予定です。

本事業は、当社グループの企業理念「資源循環型社会への貢献を目指す」に資する施策であり、適切な分別処理を行うことで資源の有効活用を図り、持続可能な社会への更なる貢献につながるものです。

2. 信州タケエイについて

1972年の設立以来、産業廃棄物・一般廃棄物処理、収集・運搬、解体事業、安定型最終処分場の運営といった多岐にわたる事業を進め、資源循環型社会に貢献すべく、廃棄物の一貫処理体制を構築してまいりました。また、諏訪湖というかけがえのない地域の財産を守るための環境美化プログラムや環境教育などにも、社員一丸となって取り組んでおります。

会社概要	
名称	株式会社信州タケエイ
本社所在地	長野県諏訪市大字上諏訪字舟渡川西1749番地
代表者	徳山 重男
事業内容	環境事業〔産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬、処分、リサイクル、最終処分場の運営〕 解体事業〔住宅、店舗、工場などの解体〕
設立	1972(昭和47)年1月 〔2011(平成23)年7月 株式会社タケエイ100%子会社化〕
資本金	91百万円
株主	株式会社タケエイ (100%)

3. 今後のスケジュール

2022年1月より事業を開始する予定です。

4. 業績の見通し

本件が当期連結業績予想に与える影響は軽微となる見込みです。来期以降、その波及効果も含めて、長期的な連結業績の向上に貢献していくものと考えております。なお、太陽光パネルリサイクル事業については、株式会社タケエイ相馬事業所(福島県相馬市)においても準備を進めております。



油圧式フレーム外し機 (未来創造(株)製)



手動式カバーガラス剥離装置（未来創造㈱製）

以上